

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36402	基礎デザイン Base Design	浅尾 知子			1	選択	1、2前期

**科目の概要**

授業では、コラージュ技法・フロッタージュ技法・デカルコマニー技法などを使い制作し、デザインの基礎知識や技法を楽しく学習してもらいます。コラージュ技法では、まず「折り紙を使ったコラージュ作品」を制作してもらいます。折り紙の紙の要素を使って「切る」「ちぎる」「ねじる」「曲げる」などで「男性や女性」「春夏秋冬」をイメージし画用紙に糊で貼り付けて制作してもらいます。次に、新聞・雑誌・広告などの写真を使って課題をイメージしたコラージュ作品も制作してもらいます。更に、竹・木・紙・プラスチック・金属・小石などを使ったコラージュにも挑戦してもらいます。その他に凹凸のある物の表面に絵の具を塗り画用紙に型押しするフロッタージュ技法やデカルコマニー技法の作品も制作してもらいます。これらの課題を制作しながら基礎的なデザイン配色についても学習してもらいます。完成した作品は、学生の潜在能力開発の一環として全国的なコンクールに出品します。授業をとおして、建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を身に付け、独創的なアイデア表現ができるように潜在能力開発にも取り組みます。この授業内容は、ディプロマ・ポリシーの②と③に相当する。

学修内容	到達目標
① 紙のコラージュや異素材コラージュなどで基本的なデザインを学習する。 ② フロッタージュの技法で着物柄のデザインを描く。 ③ B全パネルに自由に作品を描く。※学生が得意とするイラストを描き、市民美術展などに出品する。潜在能力開発の一環。	① コラージュを使って作品を仕上げるができる。この授業内容は、ディプロマ・ポリシーの②と③に相当する。 ② フロッタージュを使って作品を制作することができる。この授業内容は、ディプロマ・ポリシーの②と③に相当する。 ③ 完成した作品を美術展などに出品できる。この授業内容は、ディプロマ・ポリシーの②に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	学生の感性を大切に、総合的に作品を創造し仕上げるができる。
	働きかけ力	
	実行力	強い意志を持ち、最後まで諦めずに作品を仕上げるができる。
考え抜く力	課題発見力	制作で迷ったら、総合的に判断し仕上げるができる。
	計画力	
	創造力	色彩や構図など学生独自に、自由に創造し考え仕上げるができる。
チームで働く力	発信力	質問事項を話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明できる。
	傾聴力	教員の説明をよく聞き、独自のオリジナリティで自由に描き制作できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：必要に応じてプリントを配布する。  
 参考文献：なし。

**他科目との関連、資格との関連**

他の科目との関連：色彩と表現、基礎デザイン、染色デザイン。  
 資格との関連：なし。

学修上の助言	受講生とのルール
普段生活している時から自分の周りに美しい配色や形などないか気を配り探すこと。見つけたら携帯で写真を撮ったりして記録し作品の参考にすること。 ・課題を考える時、アイデアをたくさん出して描き、良い作品に仕上げる努力をすること。	紙のコラージュや異素材コラージュでは折り紙や異素材を自宅から持ってきて、画用紙に丁寧に貼ること。 ・パネルに紙を水張りする時は綺麗に張り仕上げる。 ・作品製作費・・・画用紙、色紙等 300円 コンクール出品者 ケント紙代、水張りテープ代400円（時価により変動）

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント							
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①								
				②								
				③								
	平常評価	小テスト		0	①							
					②							
					③							
		レポート		0	①							
					②							
					③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓					コラージュやフロッタージュの技法を使って作品を制作し、作品の完成度（特に優れて高い：90点、優れて高い：80点、完成はしているが仕上がりは普通：70点、完成はしているが仕上がりは悪い：60点、完成できてない：50点）を評価する。			
			②	✓								
			③	✓								
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓				主体性：学生の感性を大切に、総合的に作品を創造し仕上げることができる。 実行力：課題は必ず実行し仕上げることができる。 課題発見力：制作で迷ったら、総合的に判断し仕上げることができる。 創造力：色彩や構図など学生独自に、自由に創造し考え仕上げることができる。 発信力：課題に対して、計画を立て、進めることができる。 傾聴力：教員の説明をよく聞き、独自のオリジナリティで自由に描き制作できたか。 規律性：提出物の期限を守ることができる。遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。			
				②	✓							
				③	✓							
総合評価割合			100									

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
コラージュやフロッタージュの技法などを使い画用紙に6～7個の作成を行う。A：制作課題に対して、コラージュやフロッタージュの技法を使い一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、デザイン性に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。 S：Aの基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れた高い評価となっている。	B：制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なコラージュやフロッタージュのデザイン知識を身につけている。  C：Bの基準に対して、作品制作の仕上がりは丁寧さに欠け、授業態度も努力の姿勢が感じられない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の内容やスケジュールについて説明する。参考見本など見せながら制作について説明する。	講義 教員が制作方法の説明を行う。パソコンを活用した課題提出やclassroomを活用して連絡する。	授業の内容やスケジュールについて理解できる。	(復習)授業で説明したコラージュの内容についてまとめておく。パソコンで支持を出す。	90	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「コラージュ(紙)①」 デザインの基礎理解として点、線、面について解説後、課題を制作してもらいます。ムーブマン、コラージュ、イメージ表現基本要素の点、線、面について説明する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	デザインの基礎理解としての点、線、面が理解でき課題も提出できた コラージュの意味と理解して作品制作できる。	(予習)コラージュデザインについて教員から説明があった事をまとめておく。 (復習)紙のコラージュ方法についてまとめ、更にムーブマン、イメージ表現について。事前事後学習にNootbookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
3	「コラージュ(紙)②」 紙の性質を利用して、折る、曲げる、ちぎる、もむ、丸めるなどの性質などを利用して仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用した課題提出やclassroomを活用して連絡する。	紙の性質である「折る、曲げる、ちぎる、もむ、丸めるなど」のを使ってコラージュ作品を仕上げるができる。	(予習)紙コラージュのアイデアデザインをたくさん考えてくる。パソコンで支持を出す。 (復習)基本要素の点、線、面を活かし紙のコラージュの作品を仕上げる。事前事後学習にNootbookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
4	「コラージュ(紙)③」 配色や構図などに気をつけて構成する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	コラージュ作品を美しい配色も意識しながら仕上げるができる。	(予習)作品の配色について、いろいろな角度から検討して調べてくる。パソコンで支持を出す。 (復習)配色や構図などに気をつけ紙のコラージュ作品を仕上げる。事前事後学習にNootbookLMを活用する。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
5	「コラージュ(写真)①」 画用紙に新聞や雑誌などの写真を貼り、視覚的なコラージュ表現の作品を仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	問題点などを指摘してできるだけ良い作品に仕上げるができる。	(予習)課題解決に対し、多くのアイデア作品を考えてくる。 (復習)写真のコラージュ作品制作について、色彩や構図についてもまとめる。事前事後学習にNootbookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6	「コラージュ(写真)②」 画用紙に新聞や雑誌などの写真を貼り視覚的なコラージュ表現の作品を仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用した課題提出やclassroomを活用して連絡する。	参考作品を見せる。良い作品になるようにアイデアを沢山出し制作し仕上げるができる。	(予習)写真を使った視覚的なコラージュ表現を色々と考えてくる。パソコンで支持を出す。 (復習)参考作品を参考にしてコラージュ作品を仕上げる。事前事後学習にNootbookLMを活用する。	90	主体性 課題発見力 創造力
7	「フロッタージュとテクスチャー①」 葉、石、布、木皮、コンクリートなど表面の凹凸テクスチャーを利用して作品を制作する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用した課題提出やclassroomを活用して連絡する。	葉、石、布、木皮、コンクリートなど凹凸表面に絵具を塗り画用紙に押さえつけてデザイン表現し仕上げるができる。 配色にも気をつけて仕上げることができる。	(予習)フロッタージュとテクスチャーを理解して、作品のアイデアをたくさん出し仕上げてくる。パソコンで支持を出す。 (復習)葉、石、布、木皮、コンクリートなど表面の凹凸テクスチャーを利用した作品についてまとめ理解する。事前事後学習にNootbookLMを活用する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
8	「フロッタージュとテクスチャー②」 ※前回に制作した作品の色彩や構図などを見直し作品を進める。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	葉、石、布、木皮、コンクリートなど凹凸表面に絵具を塗り画用紙に押さえつけてデザイン表現し仕上げる。 配色にも気をつけて仕上げるができる。	(予習)いろいろな凹凸のある材料で画用紙に転写し、最も面白い凹凸材料で仕上げていく。 (復習)フロッタージュ作品制作についてまとめ。事前事後学習にNootbookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「フロッタージュとテクスチャー③」 葉、石、布、木皮、コンクリートの表面にポスターカラーを塗り、画用紙に転写するテクスチャーを学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	葉、石、布、木皮、コンクリートの表面にポスターカラーを塗り、画用紙に転写するテクスチャーを学び上げることができる。	(予習)いろいろな材料の凹凸の形を活かして画用紙に転写し実験しておく。パソコンで支持を出す。 (復習) フロッタージュ作品の制作を完成し、提出できるようにしておく。事前事後学習にNootobookLMを活用する。	90	主体性 実行力 創造力
10	「作品制作(コンクール用)」 B全パネルにケント紙を水張りし、学生の得意とするテーマや絵の具を使って描きあげる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	作品のアイデアを出し考えまとめ描くことができる。	(予習)どんな作品を描くか参考作品など見て準備計画しておく。  (復習) 作品のアイデアをたくさん出して仕上げる。事前事後学習にNootobookLMを活用する。	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
11	「アクションペインティング技法、ニジミ、ぼかし技法で制作①」 アクションペインティング技法やニジミ、ぼかし技法などで制作する。ポスターカラー・アクリル絵の具・水彩絵の具・墨など使用して描く。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用した課題提出やclassroomを活用して連絡する。	アクションペインティング技法、ニジミ、ぼかし技法で制作することができる。	(予習)参考作品を見本に色んな角度からアイデアを出し、考え、次回から描き始められるように準備しておく。パソコンで指示を出す。 (復習)自分の制作中の作品を見て、色彩や構図について検討しておく。事前事後学習にNootobookLMを活用する。	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
12	「アクションペインティング技法、ニジミ、ぼかし技法で制作①」 アクションペインティング技法やニジミ、ぼかし技法などで制作する。ポスターカラー・アクリル絵の具・水彩絵の具・墨など使用して描く。	講義と実習 各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	アクションペインティング技法、ニジミ、ぼかし技法で制作することができる。	(予習)自分の芸術的な個性を大切にしながらアイデアを考え描き進めておく。 (復習)制作作品で、どんなことを表現したいのか、再度見直してみよう。事前事後学習にNootobookLMを活用する。	90	主体性 課題発見力 創造力
13	「イメージ課題の制作①」 テーマに沿った内容をイメージして制作する。ポスターカラー・アクリル絵の具・水彩絵の具・墨など使用して描く。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	テーマに沿った内容をイメージして制作できる。	(予習)美しい配色や面白い配色など色んな配色を検討し制作する。パソコンで指示を出す。 (復習)完成近くの作品に対し、画面のムーブマン効果など検討し仕上げまとめ。	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
14	「イメージ課題の制作②」 テーマに沿った内容をイメージして制作する。ポスターカラー・アクリル絵の具・水彩絵の具・墨など使用して描く。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。パソコンを活用して授業内容連絡を行う。	テーマに沿った内容をイメージして制作できる。	(予習)全体的に作品を仕上げながら、再度、配色やデザイン構成を見直し、修正や変更箇所があれば訂正しておく。パソコンで指示を出す。 (復習)次回に提出できるように作品を進めておく。事前事後学習にNootobookLMを活用する。	90	主体性 課題発見力 創造力
15	作品とレポート課題を提出する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。課題作品やレポートを提出する。	作品の説明の指示に合わせた作品内容で提出できている。	(予習)いろいろな角度から作品のアイデアを出し、制作についてイメージを膨らませる。 (復習)作品制作についてまとめる。事前事後学習にNootobookLMを活用する。	90	主体性 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力